

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3670101363		
法人名	有限会社 シルバーケア		
事業所名	春日苑川内		
所在地	徳島市川内町沖島273番		
自己評価作成日	平成24年6月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=36
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会		
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階		
訪問調査日	平成24年8月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“我が家のような環境で暮らす”という思いで開設し、木材をふんだんに使用した平屋建てで、広い敷地には中庭や菜園等のある、ゆとりが感じられる空間となっている。“地域の中でひとりの人として当たり前前の生活ができるように支援していきます”という理念のもと、地域に根づいた事業所を目指している。また、職員は利用者の“できること探し”に取り組み、利用者一人ひとりのもてる力を引き出すよう努めている。ユニットごとに特色のある実践を行うことで相互に研鑽しあってサービスの質の向上を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

木造平屋建ての事業所は、広い敷地内にゆったりと建てられている。各ユニットには広いウッドデッキがあり、庭へと続いている。利用者は、天気の良い日にはウッドデッキや庭に出て菜園の手入れをしており、自然のなかで思い思いにくつろいでいる。図工教室を開いている、利用者の馴染みの方來訪が度々あり、利用者全員で作品をつくって壁面に飾っている。利用者は、様々な趣味をもっており、生け花やオカリナ、俳句等を楽しんでいる。事業所は“地域のなかでひとりの人として当たり前前の生活ができるように支援する”の理念を掲げ、町内会の行事へ参加したり、中学校に出向いて生徒へ“認知症について”の講演を行ったりして、認知症やグループホームへの理解を深めるための活動を行っている。利用者と職員は、密に信頼関係を構築しており、利用者の表情は明るく落ち着いている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に、理念を唱和し周知を図っている	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ、毎朝の申し送り時に確認しあって、日ごろのサービスの実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の学校行事や学習会、地域行事に参加し、地域の一員として関わりに努めている	町内会に加入している。毎年、町民祭のときには、出品したり、踊りを披露したりして積極的に参加し交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「認知症高齢者」に対する理解を深めて頂けるよう運営推進会議での実践報告や近隣の施設訪問等を行い啓発努力を行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ユニット毎の特色を活かした取り組みや、実践状況等を報告しサービス向上に活かす為、地域の方々やご家族様から意見を頂いている	運営推進会議へ地域包括支援センター職員の出席がある。3つのユニットが交代でテーマを決めて開催し、参加者と活発な意見交換を行っている。話しあった内容を詳しく記録し、職員間で情報を共有しあってサービスの質の向上に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日常的に連絡を密に取り、事業所での取り組みについて協力関係を築いていけるよう努力している	定期的な報告のみならず、機会あるごとに市窓口に出向いて事業所の取り組みを伝えるなどして、日ごろから協力関係の構築に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を行い、身体的、精神的拘束の排除に向けたケアの提供に取り組んでいる	定期的に、身体拘束に関する勉強会を開催している。全職員が身体拘束の弊害を理解しており、利用者一人ひとりの行動の把握と、職員の見回り、気配りにより拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関を開錠し、利用者の自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する勉強会を行い、虐待防止に向けたケアに取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員会議や運営推進会議で認知症高齢者の権利擁護についての勉強会を行い、制度を必要とされる方へのサポート体制を整えている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には十分な説明を行い納得、理解を得たうえで契約・解約又は改正を行っている。又代理人以外に身元引受人も契約時に必要とし、複数の方に理解を得るようにしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の中で利用者の家族に参加を呼びかけ、民生委員や地域の有識者を交えた場で意見交換を行い、それらを運営に反映している	家族が来訪した際に話しやすいよう、事業所の雰囲気づくりに努めている。意見箱を設置したり、第三者苦情相談窓口の掲示したりしている。出された意見に素早く対応し、職員間で共有化を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やユニットでのカンファレンス等で意見を出し合い日常的に理解を深めるための努力を行っている	毎月、全体職員会と各ユニット会議を実施し、意見を出しあって、ケアの質の向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を行い各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々に応じた研修への参加を設定し、会議時には伝達研修を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	苑外研修や他事業所との交流を行いケアの実践に活かし、サービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族とコミュニケーションを図り困っていることや不安な思い等を聞く機会を作り、安心した生活を送れるように配慮し馴染みの関係が持てるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見や要望に出来る限り応じ不安感を取り除き、早期に信頼関係が築けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が必要としていることや求めていることを提供しその他のサービスへの対応にも努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事、軽作業を共に行うことで信頼関係を築き本人の出来ること出来るようなことを探し、お互いに役割を持ちながら支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や行事、家族会等には家族のみで過ごせる時間や場所を提供している。また、写真・手紙等を送り近況報告を行い面会時には、意見要望を聴きながら、一緒に利用者を支えていく関係作りに努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の知人等の面会や電話等の受け入れの機会を作り、行事への参加を勧めゆっくり楽しむ場を提供し、関係が途切れないように努めている	利用者の馴染みの方の面会を歓迎し、来訪しやすい雰囲気づくりを行っている。また、電話回線を増やして気兼ねなく電話をかけられるようにするなどして、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の孤立を回避するため、散歩や行事等の支援を行い、利用者間のコミュニケーションが図れるように、職員が橋渡しを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した利用者及び家族へ行事等の案内を行い、関係性を継続するとともに、必要に応じて相談や支援を行い信頼関係を継続させていくよう実践している		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者及び家族の意向を尊重し、重度化した場合も可能な限り、援助を行い、個々の思いや暮らし方が継続できるように努めている	日ごろの利用者との会話や行動のなかで、一人ひとりの思いの把握に努め、本人の思いを最優先に支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし、生活環境、入所時からの経過等を把握し、一人ひとりに合わせた暮らし方の支援に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの残存機能に着目し、心身の状態に応じた過ごし方ができるよう配慮している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	関係職員でモニタリングを行い、利用者や家族の意見や要望を取り入れた個別の介護計画を作成している	支援に関わるすべての職員で話しあい、本人と家族の希望に応じた介護計画書を作成している。心身に変化が見受けられた際には、そのつど見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やモニタリング、排泄チェック表で個々の状態の変化を知ることにより職員間の情報の共有を図り、介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況、その時々生ずるニーズに対応し、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・ボランティア・保育園等と協働しながら、本人が心身の力を発揮し又、地域の商店等を利用することにより、一人ひとりが生きがいを持ち安全に暮らしを楽しむことができるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医や協力医院等と連携を図り、必要な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する医療機関の受診を支援している。また、必要に応じて協力医療機関との連携を図り、適切な医療の受診を支援している。受診時には、なるべく職員が付きそっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連絡ノートの利用や口頭により、介護職員からの情報を医師・看護師に伝達し、利用者個々の状態把握をするとともに医療関係者との情報の共有に努め、適切な受診や看護が受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と利用者の心身状態等の情報交換を行い、入退院後のダメージを少なくするような関係作りを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化における方針や終末期のあり方の説明をしている。また、本人の状態変化に応じ、事業所での対応を家族に十分に説明し、関係機関と連携を図りながら、調整を行っている	重度化や終末期に関する本人や家族の意向を確認し、意向にそうことができるよう全職員で話しあって共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変救急時に備え、酸素ボンベ、AED等を常備している。又マニュアルを作成し、定期的に勉強会を行い、緊急事態発生時に速やかに対応ができるよう努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震時対応マニュアル、緊急連絡網を作成し、火災、地震時対応避難訓練を定期的に行い、運営推進会議で地域住民の方へ訓練参加を呼びかけを行うとともに、災害時の応援体制の確保に努めている	災害時を想定したマニュアルを作成し、職員間で共有している。年2回、地域住民や消防署の協力を得て避難訓練を実施している。食糧の備蓄も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの生活歴や人柄を把握し、尊厳や権利を守り、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけを行っている。また、傾聴の姿勢に心がけ、利用者から話しかけやすい雰囲気作りに努めている	プライバシーに配慮したうえで、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者個々の思いや希望に職員が耳を傾けることはもとより、日常生活における微妙な変化に気付き、意思表示が十分出来ない場合等は、表現し、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の生活のペースや過ごし方に配慮した支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性を活かし、その人らしく喜んで頂けるように洋服選び、メイクの支援を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの好みを把握して食事が楽しめるよう支援している	利用者と職員は、同じ食卓を囲んで食事をとっている。職員は、さりげなく支援しており、利用者にとって食事が楽しみなものとなるよう配慮している。食事制限のある方には“特別”ということを感じさせないよう調理を工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々に合わせ、一口大に切ったり体調に合わせてお粥食に変更している。総合記録表による食事や水分等、個々の摂取状況や量の把握を行い、過不足時に対応できるように努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の指導のもと個々の残存能力に応じた口腔ケアを心がけている。特に夕食後の口腔ケアは丁寧にし義歯使用者には義歯洗浄剤等の使用により、清潔保持にも努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、本人の排泄パターン、習慣を把握し、トイレでの排泄を援助して、排泄の失敗やおむつの使用を軽減できるような支援を行っている	利用者一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、トイレでの自立した排泄の支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食物繊維・野菜等食事の工夫また、便秘解消に有効とされる物の摂取を心がけ、散歩やレク体操等運動を取り入れ、便秘予防を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの体調に留意し、希望を確認後、自分の意思で楽しく入浴出来るよう支援に努めている	利用者一人ひとりの体調を確認し、希望に応じた入浴の支援を行っている。夜間の入浴を希望する方には、週1回、職員を増やして対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活習慣に配慮し、昼寝の実施や、就寝時間の調整を行い、ストレスを取り除き、安心して眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬剤管理を行っているが、薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、利用者の体調等の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の生活歴や能力に合わせ、日々の暮らしが楽しめるように支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望を確認しながら外食・外出等の支援を行っている。又家族の協力を得て、墓参等の外出の機会作りを行っている	毎日、利用者とともに食材の買い出しに出かけている。また、ドライブのときには外食を楽しんでもらうなどして、生活に変化をつけるよう努めている。家族の協力を得て墓参りへ出かけるなどし、利用者一人ひとりにそった支援を心がけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれユニット 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個々の希望や能力に応じ、金銭管理や買物支援を行っている。また、外部からの移動販売(週3回)により利用者がお金を使える機会づくりも行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、電話の利用や季節の便り等の支援を行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が常に、心地良く過ごせるよう清潔を心がけ又、年間を通じて季節感を味わって頂けるよう飾り付けを施したり、年間行事の写真等を貼り四季を体感できるような空間作りに努めている	共用空間は、木の温もりと明るく広々とした雰囲気があり、利用者は思い思いにくつろいでいる。利用者が生けた花を棚に飾ったり、壁面に利用者の作った俳句や習字、葉等を飾ったりしている。利用者の写真も飾っており、家庭のような温もりを感じることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファや座椅子、テラスにはテーブルと椅子を設置し、利用者が思い思いに過ごせる様に工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には季節感を感じる物、馴染みの物を置き、明るい雰囲気の中で、利用者が居心地良く過ごせる空間作りに努めている	利用者は、馴染みの品物を持ち込んでいる。テーブルには、自分で生けた生け花や家族の写真を飾るなどして、利用者一人ひとりが居心地良く暮らすことのできる空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・トイレ・浴室等には大きく表示を行うことで場所の認識がしやすく、バリアフリー仕様で安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるように配慮している		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			うめユニット 実践状況	さくらユニット 実践状況	実践状況
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「認知症であっても、地域の中で一人の人として当たり前生活ができるように支援していきます」という理念をかかげ、毎朝の申し送りで唱和し実践につなげている	「認知症であっても地域の中でひとりの人として当たり前生活ができるように支援していきます」と言った理念をかかげ毎朝申し送り時に、唱和し実践に努めている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に所属し、川内町民祭には手芸の出展や踊りの出演など利用者や地域の一員として交流できるよう努めている	事業所自体が地域の一員として町内の行事等に積極的に参加し交流を深めている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に地域の方々や利用者、家族の参加を呼びかけ、実践報告を行ったり、川内中学校で講演をするなど啓発に努めている	近隣のスーパーや美容院へ外出される事で交流を図り認知症の人の理解や支援を求めている	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ユニット毎の持ち回りで取り組みの発表を行ない、参加された方々からの意見やアイデアをサービスの向上に活かしている	ユニット毎にテーマを決め、取り組んだ事柄を発表し共有する事でサービスの向上に活かしている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議で市の包括支援センター担当者参加のもと、事業所の取り組みを発表し協力関係を築いている。また、疑問点等があれば相談しサービスの質の改善に取り組んでいる	市町村担当者にはサービス等の取組みで疑問点があれば、積極的に相談することで協力関係を築いている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会等を開催し、施錠を含め身体拘束をしない取り組みを行なっている	身体拘束について勉強会を行い、しない方向性で周知徹底に努めている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で高齢者虐待防止について学ぶ機会を持ち、利用者が安心して暮らせるよう防止に努めている	研修や職員会議の中で高齢者虐待防止について学び安心して暮らせる様防止に努めている	

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実例があり、成年後見制度について学ぶ機会を持つ事ができ、活用している		実例があり、成年後見制度について学ぶ機会を持ち活用している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約や解約時は利用者及び家族等に十分な説明を行ない納得したうえで契約、解約を行なっている		契約や解約時には利用者、家族等に十分な説明を行い、理解や納得をして頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時等に利用者、家族等からの意見を聞くようにしている。特にクレーム等は記録、申し送りを行ない、又苑内に「苦情・相談窓口」のポスター掲示やご意見箱の設置をし、運営に反映している		意見箱の設置や面会時に家族の意見等を聞く事で運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なユニット会議・職員会議の他、職員個々の意見を聞く機会を設け、運営に活かせる様にしている		職員会議、ユニット会議、申し送り時に必要に応じて意見を出し合い運営にいかしていく努力をしている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表で個々の目標に対する努力等の反映や勤務希望を取り入れた勤務表作り、勤労者福祉サービス事業への加入等を行ない休養や気分転換が図れる環境作りに努めている		勤務希望も取り入れ、職員一人ひとりがやりがいや向上心を持って働ける職場づくりに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の力量を把握し、それに応じた研修を受け、また、職員会議等で報告をすることにより、全職員がスキルアップし、資格取得にむけて勉強する機会を確保している		職員一人ひとりの力量を把握しそれに応じた研修を受ける事で発表の機会を設けスキルアップに努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設間の交流やネットワーク作りを推奨し、相互訪問や見学の受け入れ等を通して、情報交換等を行い、サービスの質を向上させていくように取り組んでいる		他施設との交流訪問する事でネットワーク作りや活動を通してサービスの質を向上させていく取り組みを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価	
			実践状況		実践状況		実践状況	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族や本人とコミュニケーションを十分に図り、本人の生活歴やペースに合わせ無理強いをせず安心感が持てるような関係づくりに努めている	家族や本人とのコミュニケーションを図りながら本人の意志や意向をくみ取り無理強いをせず馴染みの関係が持てるような関係づくりに努めている				
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の意見や要望を取り入れながら、不安を取り除き信頼関係が築けるよう努めている	家族の意見や要望に傾聴し不安感を取り除き信頼関係が築けるように努めている				
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要としている優先されるサービスを中心に提供し、他のサービスの利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要とする求められるサービスを中心に提供し、その他のサービスへの対応にも努めている				
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事等の軽作業を一緒に行う中で、本人の出来る事を探し、お互いに役割分担をしながら信頼関係を築いている	家事等の軽作業を一緒に行う中で本人のできる事、出来そうなことをさがしお互いに役割を持ちながら信頼関係を築いている				
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族会等には、家族だけで過ごせる時間や場を提供している。また年賀状や写真、葉書等を送り、近況報告をし、関係作りをしている	面会時、お誕生会等には家族で過ごせる時間や場を提供している。又年賀状や写真、お手紙等を送り日常の近況報告を行い関係づくりに努めている				
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人の面会や電話の受け入れの機会を作ったり、居室やホールでゆっくり会話を楽しむ場を提供し、関係継続の支援に努めている	本人の友人や知人の面会や電話等の受け入れの機会を提供したり居室やホール等でゆっくり楽しむ場を提供し関係が途切れないように努めている				
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	踊りや歌、手芸で共同作品を作るなど、皆で喜びあえる場面を作り、利用者同士が仲良い関係を築くことができるように努めている	歌や踊り等で気持ちを一つにし手芸など共同作品を作ることで達成する事の喜びの場面を作り、利用者同士が仲良い関係を作り生活ができるように努めている				

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている		サービスが終了しても家族連絡や入院時のお見舞い等で状況把握をし、本人や家族へのフォロー、相談、支援を行なっている		契約が終了しても近況をうかがい状況の認識し、本人や家族への手助けをし、相談や支援を行い、関係が途切れないように努めている	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		本人や家族等とコミュニケーションを図り、できる限り、本人の希望や意向を把握、反映し、その人らしい暮らし方ができるような支援に努めている		本人や家族等の希望や意向を把握し、その人らしい暮らし方が反映できるように努めている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		馴染みの家具等を居室に置いて使用する等出来る限り、これまでの生活環境を変えない暮らし方の支援に努めている		生活歴者生活環境を把握し、本人がこれまでの生活と変わらない暮らしが出来るように努めている	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている		残存機能を把握し、職員が強要する事なく個々の日々の過ごし方に合わせた支援に努めている		個々の状態に気を配り、残存機能を把握し、日々の支援に努めている	
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している		モニタリングを行い、本人・家族等の意見やアイデアを反映した介護計画をたてている。また困難ケースと思われるときはセンター方式を取り入れている		モニタリングを行い、本人、家族等の意見やアイデアを取り入れ、個々に合った介護計画を作成している	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		介護記録・モニタリング等で情報を職員間で共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている		介護記録等情報を職員間で共有しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		その時々家族や本人のニーズに合わせて、柔軟な支援やサービスが提供できるように取り組んでいる		本人や家族の状況に合わせて柔軟な支援やサービスが提供出来るように取り組んでいる	

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している		地域の支所や銀行、スーパー等必要性に応じ、地域資源を活用しながら本人が心身の力を発揮できるよう支援している		地域の銀行、マーケット等利用することによって一人ひとりが生きがいをもち安全に暮らしを楽しめるように支援している	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している		本人、家族が希望する医療機関を受診しながら必要に応じ、協力医療機関等とも連携を図り、適切な医療を受けられるように支援している		本人、家族の希望を重視しかかりつけ医と事業所との連携を図りながら適切な医療が受けられるよう支援している	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している		医療連絡ノートを利用し、個々の利用者の体調等を看護師に伝え適切な受診や看護を受けられるよう支援している		個々の利用者の体調を口頭で伝えたり衣料申し送りノートを利用する事で適切な受診や看護を受けられるよう支援している	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。		入院の際は、出来る限り、なじみの職員がお見舞いに行く事で、関係を継続し、退院の際も、本人のダメージを軽減する為に病院関係者との情報交換や相談等関係作りに努めている		病院関係者との情報交換や相談をする事で、利用者のダメージを軽減することができ、又双方の関係作りを行っている	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる		重度化、看取りの指針を示し、利用者、家族に対し、段階に応じ事業所で出来ることを説明し、医療関係者等を含めチームで支援に取り組んでいる		本人、家族の意見を聞き事業所で出来ることを十分に話し合い方針を共有し医療関係者を含めチームで支援に取り組んでいる	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている		AEDの説明会や救急法の訓練を定期的に行ない実践力を身につけている		急変時に備え、看護師による対応、救急法などの勉強会、消防士を招いての訓練等を定期的実施している	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている		消防署の指導のもと、定期的に地震や火災訓練を行ない、地域の方にも参加を呼びかけている		消防署の指導のもと、災害等における訓練を定期的に行い実践力を身につけている	

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価	
			実践状況		実践状況		実践状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症についての勉強会を定期的に行き、職員個々が利用者のプライバシーに配慮した声かけや対応方法を身につけて実践している	職員が利用者一人ひとりのプライバシーに配慮した声かけ対応に努めている				
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴やレクの参加、買い物等日常生活の中でも利用者が希望を表したり、自己決定ができるように働きかけている	普段からコミュニケーションを図る事で利用者の思い、希望をくみ取り、本人が自己決定出来るように配慮を行っている				
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活を職員側の都合に合わせず、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った支援を行なっている	職員のペースではなく利用者個人個人の生活ペースに合わせて支援している				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように洋服選びやメイクの支援している	出張美容・理容やかかりつけの美容院を利用、又メイク衣装を選び等その人らしいオシャレが出来るように支援している				
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の力に合わせ、職員と一緒に食事の準備や後片付け等に参加し、食事が楽しめるように支援している	食事の配膳、片付けを職員と共に行ったり野外で食事をする、苦手料理が続かないよう心掛ける等食事を楽しめるように支援している				
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	協力医の指導のもと利用者の病状を把握し、食事、水分量の確保に努めている。また、利用者個々に合わせ、食器や食事の形態に工夫している	水分・食事量を把握し一日に必要な摂取量の確保に努めている、また利用者の状態に合わせて刻み食などの提供を行っている				
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の力に合わせた口腔ケアを行なっている。特に夕食後の口腔ケアを丁寧にし、義歯洗浄剤を使用する等清潔保持に努めている	本人の能力にあわせ毎食後うがいや歯磨きにより口腔内の清潔を保っている				

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の力や排泄パターン、習慣を活かし、トイレの声かけや誘導を行ない、紙パンツから布パンツに移行できるような自立にむけた支援に努めている	利用者の排泄パターン、習慣を把握し声かけ等行い自立に向けた支援を行っている			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食事の工夫、散歩等の支援を行なう他便秘症の方には排泄や水分のチェック表を利用するなどの工夫をしている	利用者の状態観察を行い適度な水分補給や運動の声かけを行っている			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	声かけをし入居者の体調に合わせてゆったりと入浴できるような見守りに努めている。夜間入浴も希望に応じている	利用者の状態に合わせて個々のタイミングで入浴出来るように心がけている			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の状態を把握するとともに、生活リズムや寝具を調整し、安眠できる環境づくりを行なっている	日常生活の安定を図り不安を取り除き安心して眠れる環境づくりを行なう			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬剤管理を行なっているが、薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、利用者の体調等の変化の確認に努めている	利用している薬を把握し確実な服薬介助を行う。服薬後も体調の変化がないかの確認に努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした手芸や家事等で楽しみごとや役割を担い、張り合いや喜びのある日々を送れるように支援している	利用者ごとに趣味・特技に合わせて活かすことができる場所の提供に努めている			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブや買物等日常的な外出以外に、墓参りや美容院への外出も家族や地域の方々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブ・買物支援等利用者の希望に合わせた外出支援を行っている			

自己	外部	項目	自己評価	うめユニット	自己評価	さくらユニット	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している		買物や外出等、利用者個々の能力や希望に合わせてお金を使う機会を作り、所持、支払いが行えるように配慮している		買物や外出の際、自らが支払いを行なえる場所を提供しお金を使える喜びを感じられるように支援している	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		年賀状や手紙、電話のやりとり等が日常的に行える様に支援をしている		年賀状や電話を通じ外部との交流を日常的に行なえる環境づくりに努めている	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		共有の空間には利用者にとり不快や混乱をまねくような刺激が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせる工夫をしている		居住スペースを清潔に又落ち着いた雰囲気づくりを心がける事で安心して過ごせる環境づくりを行っている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		ホール以外、廊下にもソファを設置して気の合った利用者同士で思い思いに過ごせる様に居場所作りの工夫をしている		居室以外にも休んだり他の利用者と談話したりできる場所を提供し居場所の確保に努める	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		居室には本人の馴染みのある家具等を配置し、居心地良く生活出来るような支援を行っている。		居室には普段より使っていた家具等を配置して頂き家庭と変わらない安心し落ち着いた生活が出来る環境づくりを行なっている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		本人のレベルに合わせて、杖やポータブルトイレ等の道具の使用やトイレ、居室等の表示を行うなどの配慮をし、安全かつできるだけ自立した生活が送れる様に工夫している		トイレや居室等の案内を分かりやすく表示し本人が安心して利用でき、安全に過ごせる環境づくりに努めている	